



ヤフー株式会社  
**株主通信 (Web版)**

2009年度 第1四半期 決算説明



< 目次 >

株主の皆様へ.....	2
2009年度第1四半期業績.....	3
連結財務諸表の概要.....	7
統括本部別活動状況.....	12
参考資料.....	15
組織図およびグループ会社.....	16
株主メモ.....	17



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

2009年度第1四半期決算の内容をご報告させていただくためこの株主通信を作成いたしました。株主の皆様当社に対するご理解を深めていただく一助となりましたら幸甚です。

さて、当四半期は、景気低迷の影響を大きく受け大手広告主の広告出稿が減少するなど大変厳しい状況となりましたが、オンライン経由の広告主への拡販、コマース関連サービスの利用促進、個人向け有料サービスの会員数拡大などに積極的に取り組んだほか、吸収合併したデータセンター事業の業績も貢献し、前年同四半期比で増収増益を達成することができました。当社は、今後も業績の向上に邁進するとともに、No.1インターネット・サービス・カンパニーとして、インターネット社会のさらなる発展に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
井上 雅博



## 第14回定時株主総会

**2009年6月23日に、東京国際フォーラムにて、  
当社の第14回定時株主総会を開催いたしました。**

当日は、543名の株主の皆様にご来場いただきました。代表取締役社長の井上が議長となり、映像を用いて事業報告および計算書類の概要のご報告を行い、決議事項の内容をご説明した後、当社の今後の成長戦略について、社長の井上よりプレゼンテーションいたしました。また、質疑応答ではご出席いただいた株主の皆様よりご質問・ご意見を頂戴いたしました。



Yahoo! JAPANの成長戦略を動画でご覧いただけます。

第14回定時株主総会にてご説明申し上げました当社の今後の成長戦略を、動画でご覧いただけます。

<http://irstreaming.yahoo.co.jp/20090623/index.html>





## 2009年度第1四半期業績総括

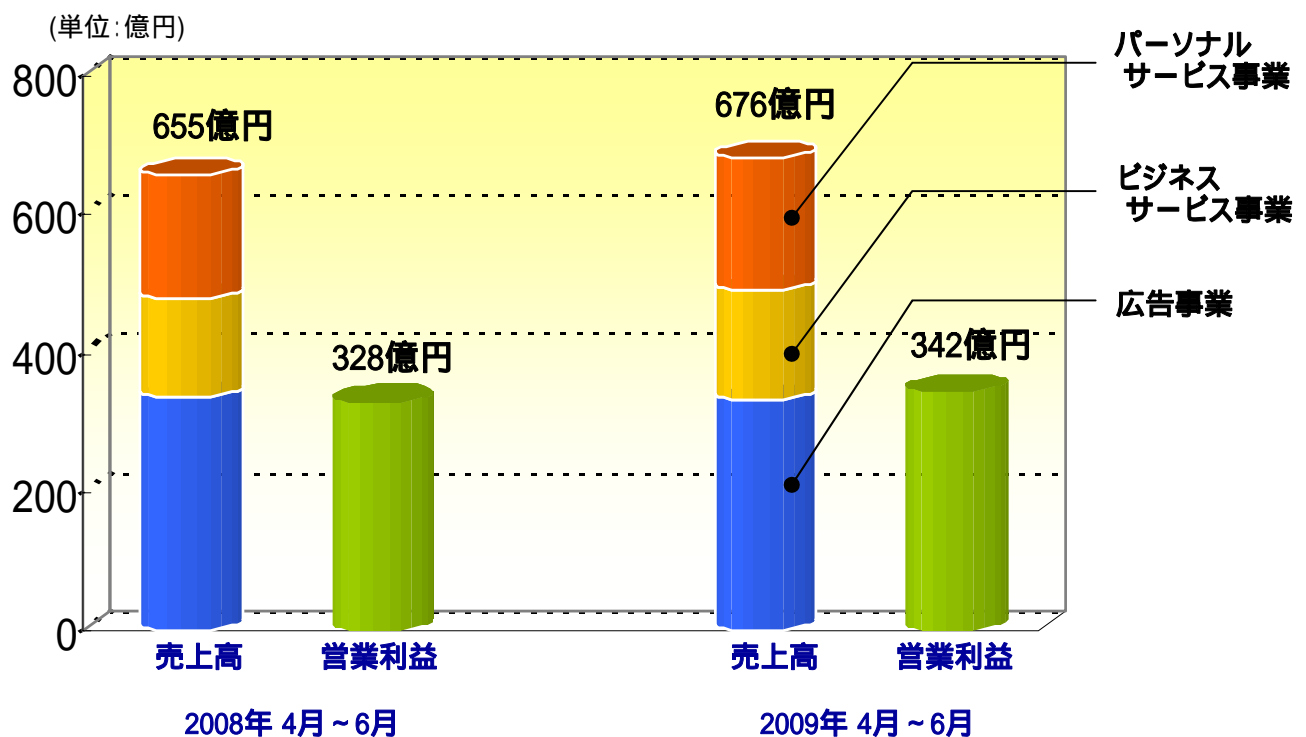
■ 前年同四半期比で増収・増益を達成しました。

単位: 億円

	2009年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	前年 同四半期比
売上高	676	655	3.2%増
営業利益	342	328	4.1%増
経常利益	340	324	5.2%増
四半期純利益	192	191	0.4%増



### 第1四半期売上高(2009年4月～6月)





## 2009年度第1四半期 広告事業

### ディスプレイ広告

- 前年同四半期比で減少し、特に金融、不動産、自動車、人材サービス等が不振となりました。一方、化粧品・トイレタリー、飲料・嗜好品等の業種による出稿は増加しました。
- 行動ターゲティング広告は不動産、人材サービス等を中心に大きく減少しましたが、デモグラフィックターゲティング広告は女性をターゲットにしている業種を中心に増加しました。

### 検索連動型広告

- 前年同四半期比でほぼ横ばいとなりました。景気低迷の影響により、広告会社経由の一部業種(人材サービス等)からの出稿が引き続き減少しました。オンライン経由の広告主による出稿は好調でした。

### 興味関心連動型広告

- 前年同四半期比で約120%増加しました(コンテンツ連動型広告を加えて算出)。携帯電話向け配信の開始、オンライン経由申込みおよびPC版のパートナーサイトへの配信開始が寄与し、アカウント数も順調に増加しました。

単位: 億円

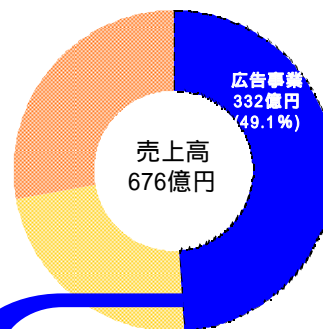
広告事業	2009年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	332	336	1.4%減
営業利益	187	177	5.7%増



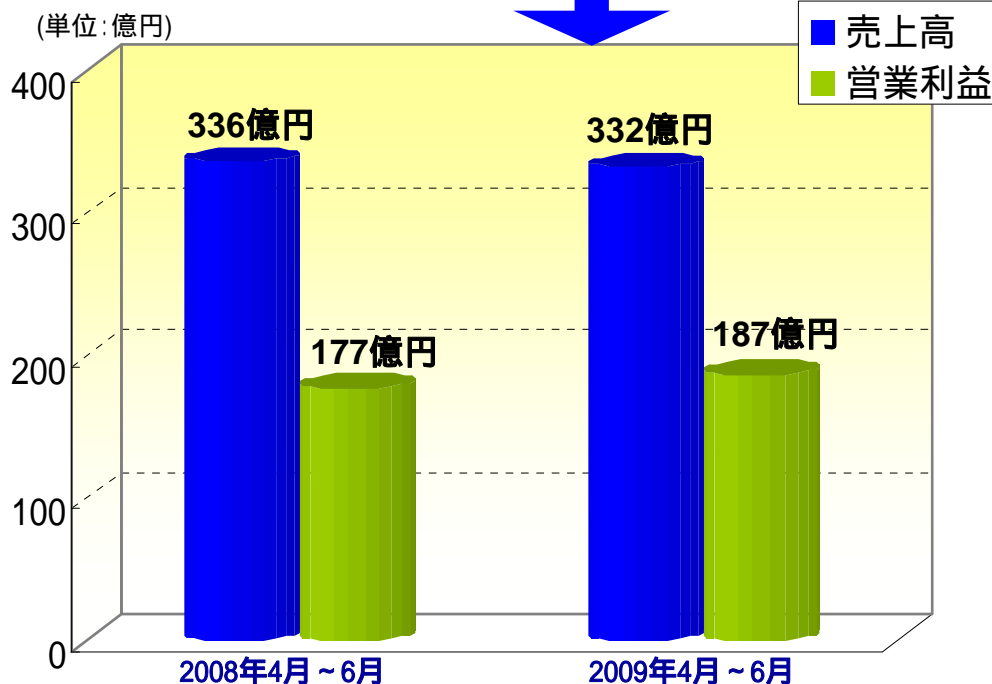
## 広告事業

ニーズに合わせた広告商品を提供する  
インターネット広告ビジネスによる売上

事業別売上高



## 売上高および営業利益



# Y! 2009年度第1四半期 ビジネスサービス事業

## eコマース関連収入

- 「Yahoo!ショッピング」: 前年同四半期比で取扱高が拡大しました。
- 「Yahoo!オークション」: 2008年12月に行ったストアロイヤルティ料率の改定により、オークション関連収入が大幅に増加しました。

## データセンター関連収入

- 2008年度第4四半期に連結子会社となった(株)IDCフロンティアのデータセンター事業関連収益が3か月分寄与しました。

## 情報掲載料収入

- 景気全般の減速感が続く中、「Yahoo!トラベル」「Yahoo!グルメ」等の売上が拡大しました。一方、企業の採用意欲の低下の影響を受け「Yahoo!リクナビ」売上は前年同四半期比で約8割減少しました。

単位: 億円

ビジネスサービス事業	2009年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	157	140	12.5%増
営業利益	56	55	2.0%増

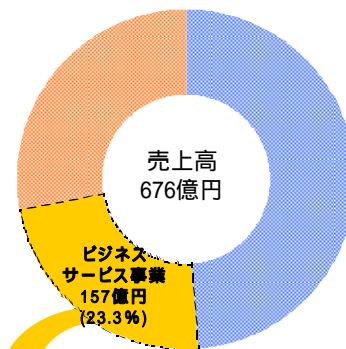


## ビジネス サービス事業

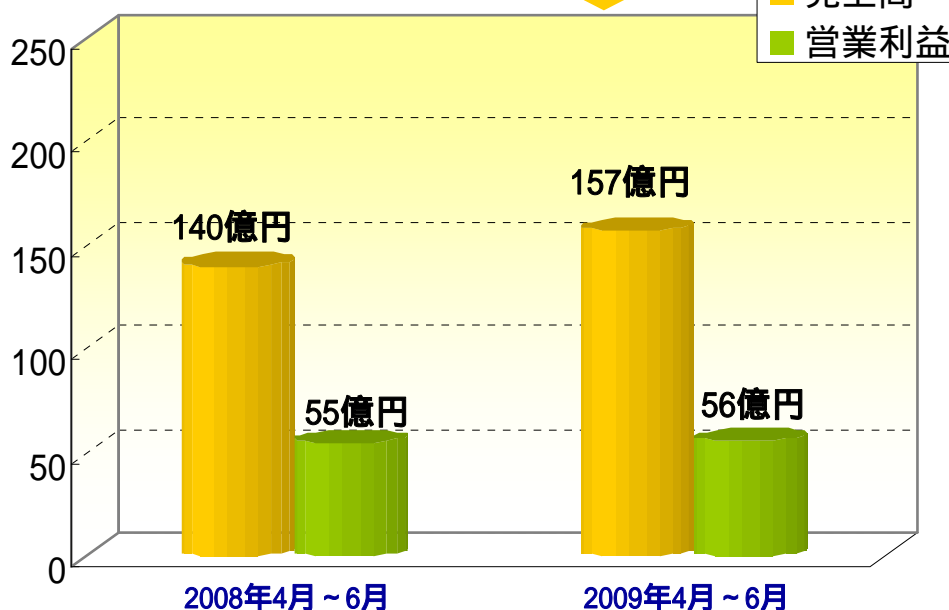
ビジネスパートナーのご要望にお応えする  
広告以外の法人向けビジネスによる売上

## 売上高および営業利益

事業別売上高



(単位: 億円)



# Y! 2009年度第1四半期 パーソナルサービス事業

## 「Yahoo!プレミアム」会員費収入

- 2009年6月末のプレミアム会員ID数は過去最大の745万IDとなりました。2008年12月に行った会費の改定により、売上高は前年同四半期比で大幅に拡大しました。

## 「Yahoo!オークション」システム利用料収入

- 消費者の低価格志向による落札単価の低下により、「Yahoo!オークション」のCtoC取扱高は前年同四半期比で減少しました。

## 「コンテンツ課金」収入

- 「Yahoo!パートナー」「Yahoo!コミック」「Yahoo!占い」「Yahoo!ゲーム」等の課金コンテンツ・サービスを中心に引き続き大きく売上を伸ばしました。

単位：億円

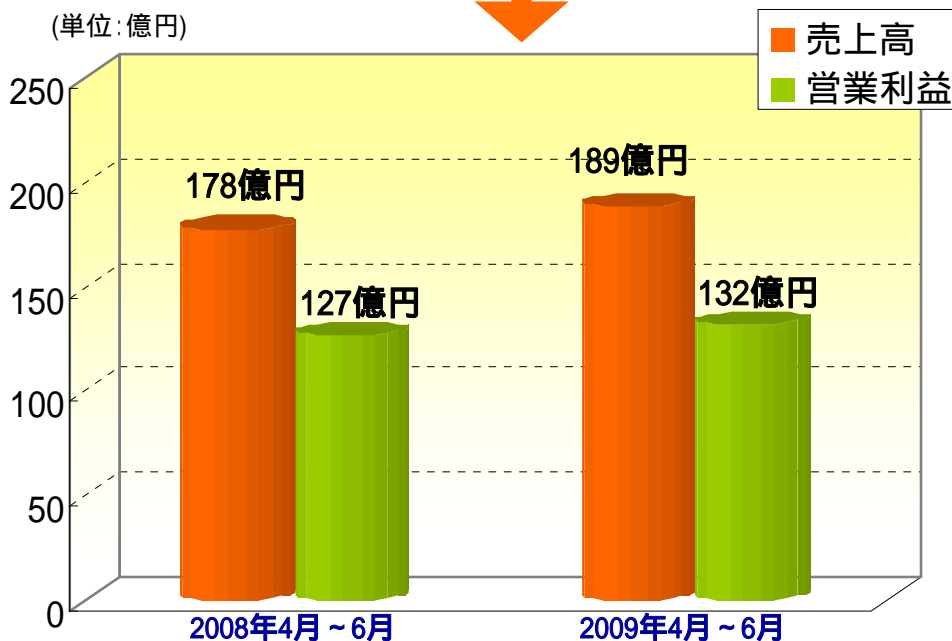
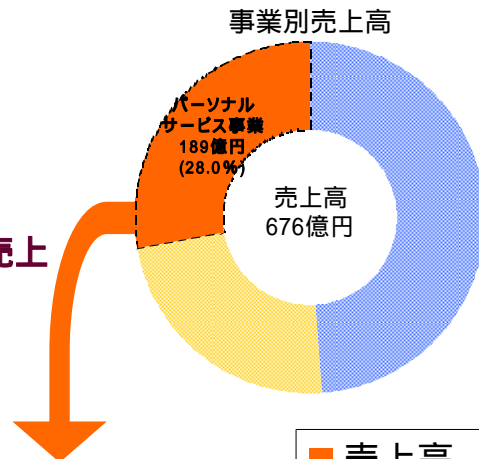
パーソナルサービス事業	2009年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	前年同四半期比
売上高	189	178	6.0%増
営業利益	132	127	3.6%増



## パーソナル サービス事業

価値あるインターネットサービスを提供する個人向けビジネスによる売上

売上高および営業利益





## 2009年度第1四半期損益計算書

	2009年4-6月	2008年4-6月	増減率	
売上高 (億円)	676	655	3.2 %	
売上原価 (億円)	78	69	13.3 %	Point 1
売上総利益 (億円)	597	586	2.0 %	
営業利益 (億円)	342	328	4.1 %	
経常利益 (億円)	340	324	5.2 %	Point 2
四半期純利益 (億円)	192	191	0.4 %	Point 3
EPS (円)	331	317	4.3 %	
発行済株式数(期中平均) (万株) *	5,810	6,034	-3.7 %	
完全希薄化後 EPS(円)	330	317	4.3 %	
完全希薄化後株式数 (万株) *	5,815	6,042	-3.7 %	

\* 発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています



< 当四半期の連結損益計算書のポイント >

### Point1 : 売上原価

当四半期の売上原価が前年同四半期と比べて増加したのは、合併により当四半期からデータセンター事業にかかわる原価が発生したことによるものです。

### Point2 : 営業外損益

当四半期の営業外収益の主なものは、未払配当金除斥益(注)です。また、営業外費用の主なものは、持分法による投資損失および支払利息です。

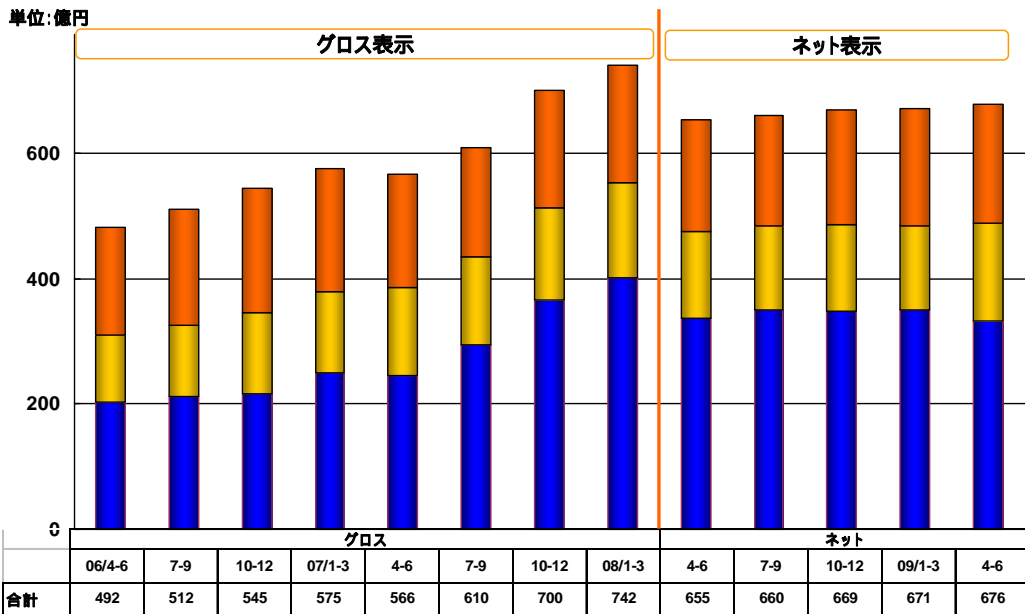
(注) 未払配当金除斥益とは、当社定款に定める支払期間(3年間)内にお受取のなかった配当金の戻し入れです。

### Point3 : 特別損益

当四半期の特別損失の主なものは、のれんの減損損失および投資有価証券評価損です。



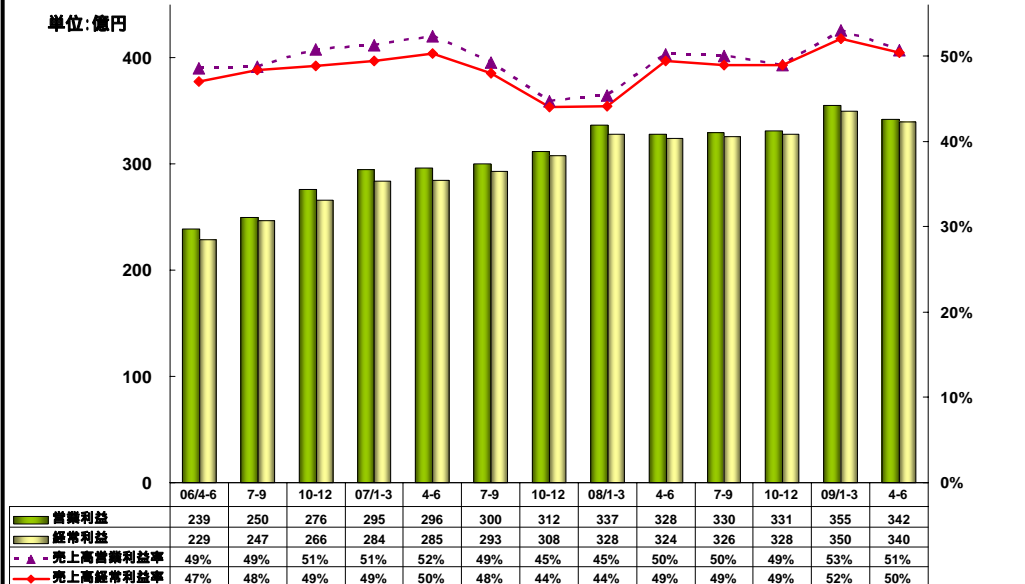
## 四半期売上高推移



昨年度より、売上原価に計上していたパートナーサイトの運営会社へ支払うページ使用料(TAC)や販売費及び一般管理費に計上していた販売代理店等へ支払う手数料について、**売上高から控除する方法(経費表示、ネット表示)**に変更いたしました。これは、パートナーサイトを通じたオープン化戦略を展開し収益の多様化を図る中、当社とパートナー/販売代理店等との役割分担およびリスク負担をあらためて検討した結果、**売上高を経費表示することがより合理的**であると判断したことによります。



## 四半期利益推移



2008年4-6月以降の各利益率は売上高をネット表示に変更したことによる影響を受けています







## 販管費構成推移

	単位:億円		単位:億円		
	09/1Q	構成比	08/1Q	前年同期比 増減率	
人件費	72	28.6%	61	18.7%	Point 1
業務委託費	32	12.7%	42	-24.4%	Point 2
通信費	25	9.8%	22	12.9%	
減価償却費	21	8.4%	23	-8.9%	
ロイヤルティ	19	7.7%	19	0.7%	
情報提供料	17	6.9%	13	31.0%	Point 3
賃借料・水道光熱費	15	6.1%	17	-11.6%	Point 4
販売促進費	14	5.6%	14	-1.4%	
販売手数料	9	3.6%	10	-11.2%	
維持管理費	5	2.3%	5	5.4%	
租税公課	5	2.0%	2	74.6%	
のれん償却額	3	1.2%	2	55.4%	
支払手数料	2	1.0%	2	16.1%	
広告宣伝費	2	0.9%	3	-24.5%	
貸倒引当金繰入額	1	0.5%	1	-35.0%	
その他	6	2.7%	14	-51.8%	
販売一般管理費	255	100.0%	257	-0.8%	



< 当四半期の販管費構成のポイント >

### Point1 : 人件費

当四半期末における当グループの従業員数は、4,945名と前年同四半期末と比べて801名増加（19.3%増）しました。

### Point2 : 業務委託費

当四半期の業務委託費が前年同四半期と比べて減少したのは、開発等の業務の内製化を推進した結果、外部委託業務が減少したことによるものです。

### Point3 : 情報提供料

当四半期の情報提供料が前年同四半期と比べて増加したのは、主にバラエティや百科事典のコンテンツが増加したことによるものです。

### Point4 : 賃借料・水道光熱費

当四半期の賃借料・水道光熱費が前年同四半期と比べて減少したのは、主にオフィスを集約したことによるものです。



## 2009年度第1四半期貸借対照表

主な科目	2009年6月末	2008年6月末	増減	単位:億円
<b>&lt;資産の部&gt;</b>				
流動資産	1,056	1,148	-92	
現金及び預金	524	666	-142	Point 1
売掛金	335	341	-6	
固定資産	2,176	2,036	140	Point 2
有形固定資産	282	163	118	
無形固定資産	176	146	30	
投資有価証券	1,580	1,616	-36	
資産の部合計	3,232	3,185	47	
<b>&lt;負債の部&gt;</b>				
流動負債	740	738	1	
短期借入金	200	200	-0	
未払金	111	169	-58	
未払法人税等	137	123	14	
固定負債	3	200	-196	Point 3
負債の部合計	743	938	-194	
<b>&lt;純資産の部&gt;</b>				
株主資本	2,455	2,211	244	
資本金	74	73	0	
資本剰余金	25	24	0	
利益剰余金	2,356	2,494	-138	Point 4
自己株式	-	-381	381	
評価・換算差額等	6	8	-2	
少数株主持分	23	25	-1	
純資産の部合計	2,488	2,246	242	
負債純資産合計	3,232	3,185	47	



<当四半期の連結貸借対照表のポイント>

### 【資産の部】

#### Point1：現金及び預金

現金及び預金は、営業活動による資金の増加があったものの、前年度に行った自己株式の取得、および投資有価証券の取得により、前年同四半期末と比べて減少しました。

#### Point2：有形固定資産

有形固定資産が前年同四半期末と比べて増加したのは、主に合併による資産の受け入れによるものです。

### 【負債の部】

#### Point3：固定負債

固定負債が前年同四半期末と比べて減少したのは、主に長期借入金の返済によるものです。

### 【純資産の部】

#### Point4：利益剰余金

利益剰余金は、純利益の計上による増加があったものの、前年度に行った自己株式の買入消却により、前年同四半期末と比べて減少しました。



## 2009年度第1四半期キャッシュ・フロー

主な項目	2009年4-6月	単位:億円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>361</b>	Point 1
税金等調整前四半期純利益	328	
減価償却費	24	
売上債権・仕入債務	20	
法人税等の支払	-35	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-34</b>	Point 2
定期預金預入	-10	
有形固定資産の取得	-23	
無形固定資産の取得	-7	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>-181</b>	Point 3
長期借入金の返済	-100	
配当金の支払	-75	
<b>キャッシュ・フロー増減額</b>	<b>145</b>	

YAHOO!  
JAPAN

< 当四半期の連結キャッシュ・フロー計算書のポイント >

**Point1 : 営業活動によるキャッシュ・フロー**

当四半期の営業活動においては、利益等の計上により361億円の収入となりました。

**Point2 : 投資活動によるキャッシュ・フロー**

当四半期の投資活動においては、主に有形固定資産の取得や定期預金の預入れにより、34億円の支出となりました。

**Point3 : 財務活動によるキャッシュ・フロー**

当四半期の財務活動においては、主に借入金の返済および配当金の支払いにより181億円の支出となりました。



## 統括本部別活動状況

### メディア事業統括本部

広告を掲載する各サービスの企画、情報提供元であるコンテンツパートナーとの連携、広告会社と連携した広告商品の企画・販売を通じ、利用者・広告主の双方に支持されるウェブサイトの提供を推進しています。

主な売上： ディスプレイ広告（バナー、テキスト、メール、動画）、企画広告制作費  
成果連動広告（広告会社経由）  
「Yahoo!不動産」（新築物件）等の情報掲載料  
「Yahoo!リサーチ」等の売上

### BS事業統括本部

地域・生活圏の情報掲載サービスの企画、代理店・オンラインセールスを含めた中小企業クライアント向け商品・サービスの販売等を行っているほか、東京以外のエリアにおける営業活動も統括しています。  
地域・生活に密着した情報を提供することにより、利用者の生活を豊かにするとともに、インターネットをビジネスに活用する法人に対して有用な情報提供やサービスの拡充、宣伝効果の高い情報掲載の場を提供しています。

主な売上： 成果連動広告（オンライン経由）  
「Yahoo!リクナビ」、「Yahoo!不動産」（仲介物件）、「Yahoo!自動車」、「Yahoo!トラベル」等の情報掲載料  
「Yahoo!ビジネスエクスプレス」、「Yahoo!ウェブホスティング」等の売上  
データセンター関連売上



< 当四半期のトピックス >

### (株)Gya0の子会社化

「Yahoo!動画」と「Gya0」の統合を軸に、日本最大級のオフィシャル映像配信プラットフォーム構築に向けた取り組みを開始しました。

<http://www.gyao.jp/>



「Gya0」



「Yahoo! JAPAN for AQUOS」より

### 「Yahoo! JAPAN for AQUOS」にて「動画チャンネル」を提供開始

お笑い、音楽、アニメなどさまざまなジャンルの動画コンテンツ3,000本以上が無料で視聴可能になりました。

<http://aquos.yahoo.co.jp/>

### モバイル版「Yahoo!地図」

auの「EZカーナビリンク」に対応させるとともにトヨタ製ディーラーオプションナビ向けのサービスを開始しました。

<http://map.mobile.yahoo.co.jp/>



「路線・地図アプリ」



## 統括本部別活動状況

### コンシューマ事業統括本部

「Yahoo!オークション」や「Yahoo!ショッピング」を中心としたコマース関連サービス、「Yahoo!プレミアム」等の会員サービスや有料コンテンツ等の個人向けサービス、「Yahoo!ウォレット」等の決済サービスの企画・販売促進を通じ、インターネットを介した流通活動の促進と利便性の向上を推進しています。

主な売上： 「Yahoo!オークション」、「Yahoo!ショッピング」のテナント料・手数料  
「Yahoo! BB」のインセンティブ  
「Yahoo!オークション」のシステム利用料  
「Yahoo!プレミアム」の売上  
「Yahoo! BB」のISP料金、コンテンツ料金

### 事業戦略統括本部

オープン化を促進するサービスの企画、アライアンスによるパートナーの獲得とその関係強化を図るとともに、マーケティングインフラの企画・整備、全社的なマーケティング戦略の立案・実行を行うことで、Yahoo! JAPANのブランド価値の向上とオープン化のさらなる拡大に向けた取り組みを推進しています。



<当四半期のトピックス>

### 「Yahoo!ショッピング」

### 「Yahoo!オークション」

季節に応じた販促企画の展開したほか、両サービス間や「Yahoo!検索」からの誘導強化など、サービス間の連携強化を推進しました。

(Yahoo!ショッピング) <http://shopping.yahoo.co.jp/>

(Yahoo!オークション) <http://auctions.yahoo.co.jp/jp/>



「Yahoo!ショッピング」より



「モバイル版Yahoo!オークション」

### 「モバイル版Yahoo!オークション」

iモード向け新サービスとして「ドコモ・モバイルオークション会員」を新設しました。

詳細は右記のQRコードよりご覧ください。



### 「Yahoo!ポイント」

「nanaco」ポイントへの交換サービスや外部パートナーとの連携強化を行いました。

<http://points.yahoo.co.jp/promo/nanaco/index.html>



「Yahoo!ポイント」より



## 統括本部別活動状況

### オペレーション統括本部

全社的なシステムの安定化・効率化の推進、データセンター設備の安定運用を行い、安全、安心して利用できる環境を整えることで、サービス停止などの事故を防止する管理体制の整備を行っています。また、コンタクトセンターの運営を通じて、お客様の満足度向上を推進しています。

### R&D統括本部

各サービスの開発・機能改善を行うエンジニアを集約するとともに、広告、検索、課金などサービス提供の土台となるプラットフォーム開発を一元化。開発の効率化、柔軟なリソース配分、技術力の向上を図り、加えて編成・編集、デザインの一元化によるサービス品質、操作性の向上を推進しています。



<当四半期のトピックス>

### 「Yahoo!メール Academic Edition」

「Yahoo!プロフィール」との連携を開始し、学内ネットワーク機能も利用可能になりました。

<http://promo.mail.yahoo.co.jp/academic/>



「Yahoo!メール Academic Edition」



「テレビ版Yahoo! JAPAN」

### 「テレビ版Yahoo! JAPAN」

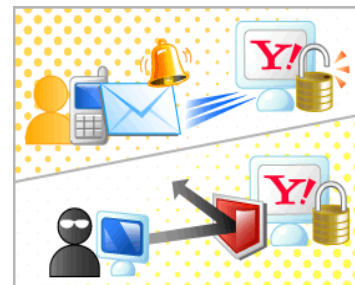
国内主要メーカーのインターネット対応テレビに標準搭載されたブラウザに対応した「テレビ版Yahoo! JAPAN」の提供を開始しました。

<http://dtv.yahoo.co.jp/>（テレビから）


### セキュリティ

「Yahoo!メール」における迷惑メール対策機能や第三者の不正ログインを早期に察知できる「ログインアラート」機能の提供を開始しました。

[http://login.yahoo.co.jp/guide/jp/yid/login\\_alert/index.html](http://login.yahoo.co.jp/guide/jp/yid/login_alert/index.html)



「ログインアラート」機能




## ディスプレイ広告売上高の業界別シェア


**広告売上高の増加額(前年同四半期比)が大きかった業界**  
 化粧品・トイレタリー  
 飲料・嗜好品  
 移動体通信サービス

**広告売上高の減少額(前年同四半期比)が大きかった業界**  
 金融・保険・証券  
 不動産・建設  
 自動車・関連品

	08/1Q	2Q	3Q	4Q	09/1Q
金融・保険・証券	18.1%	18.9%	16.7%	14.0%	13.2%
化粧品・トイレタリー	9.2%	10.2%	10.4%	10.2%	12.2%
自動車・関連品	12.3%	10.7%	11.4%	12.9%	10.1%
不動産・建設	12.1%	11.5%	10.7%	12.8%	8.9%
交通・レジャー	7.9%	7.9%	7.2%	6.3%	7.4%
飲料・嗜好品	5.0%	3.9%	3.3%	4.9%	7.2%
移動体通信サービス	3.3%	3.3%	4.1%	3.9%	5.0%
食品	3.5%	3.4%	3.6%	3.8%	4.1%
ファッション・アクセサリ	3.7%	3.4%	4.2%	3.1%	4.0%
情報処理サービス・ソフト会社	1.5%	0.6%	1.1%	1.1%	2.3%
その他	23.4%	26.2%	27.3%	27.0%	25.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■上記は広告内容により分類しています





## 2009年度第1四半期 ディスプレイ広告 主要広告主

**金融・保険・証券**  
 三井住友銀行  
 イーバンク銀行  
 オリックス・クレジット

**化粧品・トイレタリー**  
 資生堂  
 オルビス  
 ディーエイチシー

**自動車・関連品**  
 本田技研工業  
 マツダ  
 アイケイコーポレーション

**不動産・建設**  
 野村不動産  
 三井不動産レジデンシャル

**交通・レジャー**  
 全日本空輸  
 日本航空

**飲料・嗜好品**  
 キリンビバレッジ  
 サントリーホールディングス  
 日本コカ・コーラ


**移動体通信サービス**  
 KDDI  
 ソフトバンクモバイル

**食品**  
 日本ケロッグ  
 やずや

**ファッション・アクセサリ**  
 ジョルジオアルマーニジャパン  
 ナイキジャパン

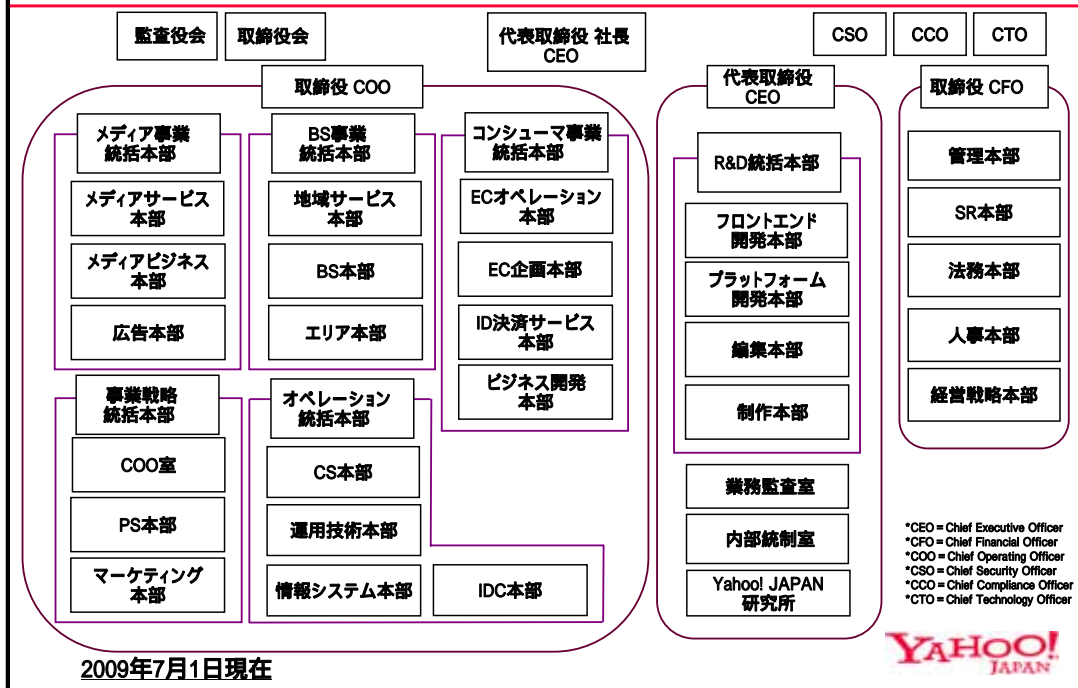
**情報処理サービス・ソフト会社**  
 マイクロソフト

■上記は広告内容により分類しています

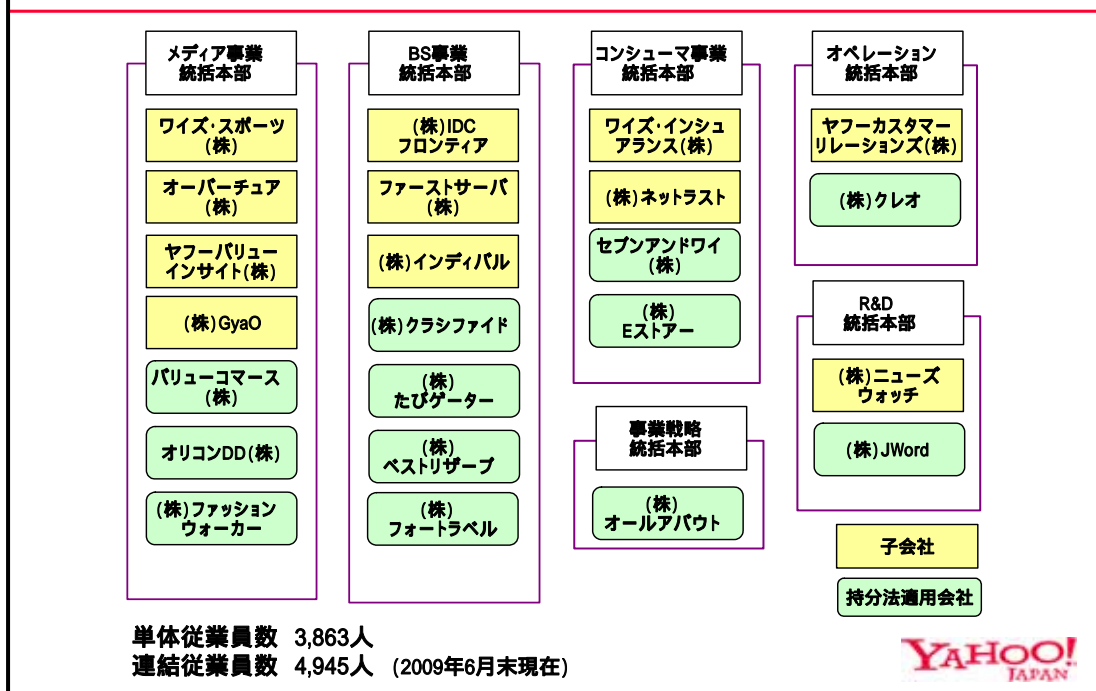




## 組織図(単体ベース)



## グループ企業







## 株主メモ

決算期 : 毎年3月31日  
定時株主総会 : 毎年6月  
株主名簿管理人 : 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
0120-232-711 (通話料無料)  
公 告 方 法 : 電子公告  
ただし、事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

ご案内

**【未受領の配当金について】**

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。  
お問い合わせについては、上記連絡先(0120-232-711)へご連絡ください。  
お手続きに関する詳細は、三菱UFJ信託銀行のホームページでもご確認いただけます。  
・三菱UFJ信託銀行ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/> (外部サイト)

**【住所変更等、各種お手続きについて】**

株券電子化に伴い、各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



**資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。**

**会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成22年3月期 第1四半期決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。**

**本資料・データの無断転用はご遠慮ください。**